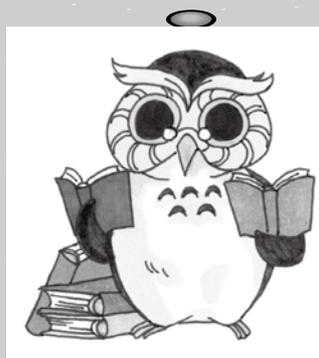


みやこ町図書館だより 2012冬

ふくろうの森通信

発行 2012年1月1日 第15号



福 新年あけましておめでとうございます 福

昨年8月よりブックスタートも始まり、また来年度から移動図書館車の『にこにこ号』が町内の保育所や小学校を回ります。これからも、みなさんのお役に立てるような図書館作りを目指して頑張りたいと思います。

本年も、図書館へのご支援をよろしくお願ひします。

柳田 邦男 講演会

昨年の11月27日(日)に、サン・グレートみやこで柳田邦男氏を招いて「言葉の力、生きる力」というテーマで、講演会が行われました。

言葉のもつ意味、伝えることの大切さを改めて感じました。また、絵本は子どもたちだけでなく、大人にも大きな力を与えてくれるものだということを実感させられました。

柳田氏の温かい人柄にふれることができた時間でもありました。

たくさんの方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。



郷土の偉人2

堺 利彦



経歴

小笠原藩下級武士の子として、明治三年、現在の福岡県京都郡みやこ町豊津に生まれる。豊津中学校（現・育徳館高校）を首席で卒業の後、上京し第一高等中学校（現・東京大学教養学部）に入学するが、学費未納で除籍された。

その後は大阪や福岡などで教員や新聞記者など、仕事を転々とした。明治三十二年に萬朝報（よろずちようほう）に入社。同僚の内村鑑三、幸徳秋水らと出会ったことで、その後社会主義の道を進むことになった。

日露開戦に対して、非戦論を唱えるなどした為、度々投獄されたり、官憲の監視下に置かれたりした。

大逆事件のあと、社会主義が「冬の時代」に入ると、生活の糧を得るため、また運動の拠点として「売文社（ばいぶんしゃ）」を設立した。

日本の社会主義の開拓者として知られる堺だが、その一方で文学でもその才能を発揮している。

晩年には、堺利彦農民労働学校を故郷豊津に開校した。

著書

『堺利彦女性論集』三一書房（1983）

『堺利彦獄中書簡を読む』菁柿堂（2011）

『堺利彦伝』中央公論社（2010）

『堺利彦全集』法律文化社

（1970～1971）

など

参考図書

『堺利彦の生涯』（上・下巻）川口武彦（著）

社会主義協会出版局

『パンとペン』黒岩比佐子（著）講談社

『堺利彦伝』堺利彦（著）中央公論社

彼の故郷豊津には、その記念碑が建立されている。

碑文には

『母と共に花しほらしの薬草の

千ぶり摘みし故郷の野よ』

という望郷の歌が記されている。



堺利彦顕彰記念碑（昭和35年建立）

※隣には「堺利彦顕彰記念館」がある。

【問い合わせ先】

みやこ町歴史民俗博物館（TEL）0930-33-4666

としょかん司書お勧め ✓チェック本

～人生の先輩の本～

【一般向け】

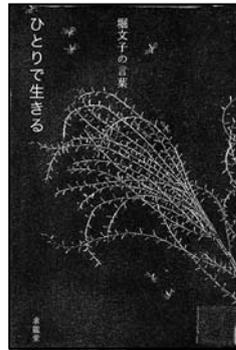
『はげましてはげまされて
93歳正造じいちゃん56年間のまんが絵日記』
竹浪 正造 (著) 廣済堂出版



昭和30年から56年間、自分の家族の歴史、当時の流行などを絵日記にして綴ったものがテレビで取り上げられ書籍化。ユニークな絵とコメントや吹き出しなどで構成されており、読めば心がほっこりしてくる。(2011刊)

【一般向け】

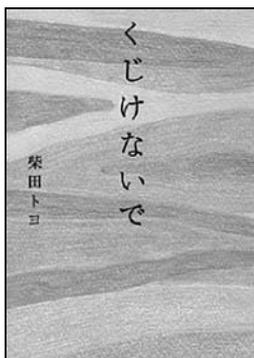
『ひとりで生きる』堀 文子 (著) 求龍堂



美しい言葉で著者の生き方が語られている。短い言葉だが毅然として強く、心に深くしみこんでくる。「こういう考えを持って人生を送りたい」と思ってしまう本である。日本画家である著者の絵にも心癒される。(2010刊)

【一般向け】

『くじけないで』柴田 トヨ (著) 飛鳥新社



90歳を過ぎ初めて詩を創作し、初々しくやさしい表現は心の中にしみ渡る。「人生、いつだってこれから」100歳のトヨさんの、平成15年から平成22年までの作品を集めた処女詩集。(2010刊)

【児童向け】

『くうき』まど みちお (詩)
ささめや ゆき (絵) 理論社



私たちが生きていくうえで一番かせない「くうき」という存在。その身近な存在で、みんながつながっているという事を、あらためて気づかせてくれる詩の絵本。(2011刊)



【質問】

家庭菜園の野菜につく害虫の名前とその写真が見たい。

【回答】

下記の本を選んでみました。

- 『家庭菜園の病気と害虫』 米山伸吾・木村裕 (著) 農山漁村文化協会
- 『家庭でできる植木・野菜・草花の病気と害虫対策』 牛山欽司 (著) 成美堂出版
- 『野菜病害の見分け方 診断と防除のコツ』 岸国平・我孫子和雄 (著) 全国農村教育協会
- 『野菜の病虫害防除』 岸国平・上住泰 (著) 家の光協会



図書館カレンダー



1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月1日(日)から1月4日(水)までお休みです

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館時間：10時から18時まで

休館日：毎週月曜日

毎月最終木曜日

(木曜日が祝日の場合翌日)

お問い合わせ

●みやこ町中央図書館

みやこ町豊津1122-12 ☎33-1040

●みやこ町犀川図書館

みやこ町犀川古川50 ☎42-3330

●みやこ町勝山図書館

みやこ町勝山黒田86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

本のある風景

勝山子育て支援センター

支援センターは毎週月～金曜日の10時から15時まで開かれており、0歳からおおむね3歳前後の未就園児とお母さんが、子育てについて交流を深めています。

遠足や誕生会など楽しい行事も行われています。

よみきかせは、幼児の年齢に合わせて絵本を選び読んでいますが、まだ幼いので1対1で行うほうがよく聞いてくれるとのこと。みんな絵本は大好きで、楽しい時間を過ごしています。



声

このコーナーでは、利用者の皆さんからよくある質問をご紹介します

家にある本を寄贈してもいいですか。

寄贈は受けつけております。ただ次のような本はお断りさせていただく場合もあります。

- ・汚れや、破れ、落書きのあるもの、カバーがないもの。
- ・出版後10年以上たった実用書やガイドブック。
- ・百科事典、雑誌

ただし、図書館で保存させていただきたい貴重資料は、上記に限りません。(郷土資料など)

※その他ビデオ・DVDなどの映像資料は著作権の制限があるため受け入れられません。

編集後記

あけましておめでとう
ございます。今年も清々
しい気持ちで新年の誓い
をたてています。どんな
ことができるか、新しい
ことに挑戦しようと思っ
ています。

今回の特集は郷土の偉
人を紹介します。みやこ
町には、私たちが誇れる
多くの人々が生まれ育っ
ています。彼らが歴史に
残した業績は大切にして
いきたいですね。

